

議題
第10回年次会合
2003年10月7-10日
ニュージーランド、クライストチャーチ

1. 開会
 - 1.1 歓迎の辞
 - 1.2 議題の採択
2. 拡大委員会による決定事項の承認
3. CCSBT11の議長及び副議長並びに開催地の選定
4. その他の事項
5. 会議報告書の採択
6. 閉会

第10回年次会合

注 釈

1. 開会
 - 1.1 歓迎の辞

議長は、メンバー及びオブザーバーを歓迎し、歓迎の辞を述べる。
 - 1.2 議題の採択

議長は、委員会及び拡大委員会における会合の進行方法、並びに両会合の討議事項の関連性について概説する。
議長は、回章された委員会会合用議題案の採択を求める。
2. 拡大委員会による決定事項の承認

拡大委員会報告書が提示され、その決定事項は委員会によって承認される。
3. CCSBT11 の議長及び副議長並びに開催地の選定

委員会は、第11回年次会合における議長及び副議長を選出する。ローテーションの慣例に基づき、議長は韓国から、また副議長は日本から選出される。
委員会は、韓国において次回会合を開催することを確認する。
4. その他の事項

この項目は、その他の議題項目で明確にカバーされなかった事項を討議する。
会合開催時に議題が正式に採択される際、メンバーが議長に項目を選出することが期待される。
5. 会議報告書の採択

報告書が採択される。
6. 閉会

議長は、正式に会合を閉会する。

第 10 回年次会合
拡大委員会

議題

1. 開会
 - 1.1 第 10 回年次会合における拡大委員会会合の議長及び副議長の選定
 - 1.2 議題の採択
 - 1.3 オープニング・ステートメント
 - 1.3.1 加盟国
 - 1.3.2 その他の国及び団体
2. 事務局からの報告
3. 財政運営委員会からの報告
4. 非加盟国との関係
 - 4.1 インドネシア
 - 4.2 南アフリカ
 - 4.3 フィリピン
 - 4.4 セイシェル
 - 4.5 その他の国
5. 協力的非加盟国の地位
6. 行動計画
7. ミナミマグロ漁業のレビュー
8. 科学委員会からの報告
9. 管理手続き
10. インドネシア漁獲の監視
11. 総漁獲可能量及びその配分
12. クォータトレーディング
13. IUU 漁業
14. 貿易情報スキームの問題
15. 生態学的関連種作業部会

16. 調査死亡量枠
17. 2004 年の作業計画
18. その他の組織との活動
19. 委員会文書の機密性
20. その他の事項
21. 閉会
 - 21.1 第 3 回拡大委員会の議長及び副議長の選定
 - 21.2 会合報告書の採択
 - 21.3 閉会

第 10 回年次会合
拡大委員会

議題

- 1 . 開会
 - 1.1 第 10 回年次会合における拡大委員会会合の議長及び副議長の選定
 - 1.2 議題の採択
 - 1.3 オープニング・ステートメント
 - 1.3.1 加盟国
 - 1.3.2 その他の国及び団体
- 2 . 事務局からの報告

事務局長は、委員会の討議用に、前年に行われた活動について報告書を作成する。
- 3 . 財政運営委員会からの報告

財政運営委員会は、2003 年修正予算案及び 2004 年度予算案を検討するために召集・設置される。両予算案の再検討後、財政運営委員会は、委員会に対し、その報告書の承認を求める。この手続きは 2003 年修正予算案及び 2004 年予算案を決定するために行われる。
- 4 . 非加盟国との関係
 - 4.1 インドネシア
 - 4.2 南アフリカ
 - 4.3 フィリピン
 - 4.4 セイシェル
 - 4.5 その他の国

この項目では、委員会の活動と何らかの関わりをもつと認定された各国に関する問題について協議する。
- 5 . 協力的非加盟国の地位

閉会期間中、決議案は各国により協議された。決議はまだ合意されていないが、「協力的非加盟国」の地位を正式に確立し、その地位に伴う権利と責任が生じるであろう。
- 6 . 行動計画

委員会は、委員会の保存及び管理目標を損なう操業を行う 4 カ国に対する措置を決定している。事務局から報告が行われる。
- 7 . ミナミマグロ漁業のレビュー

委員会の合意に基づき、各加盟国の前年漁期におけるミナミマグロ漁業の報告を求める。
- 8 . 科学委員会からの報告

科学委員会議長は、9 月に開催された科学委員会報告書を提出する。

- 9 . 管理手続
科学委員会議長は、この問題を委員会に提示する。CCSBT の管理手続の更なる発展を可能なものにするため、委員会の管理目標に対するガイダンス作成の要請が最重要事項になる。
- 10 . インドネシア漁獲の監視
科学委員会議長は、4月にクイーンズタウンにて開催されたインドネシア漁獲監視ワークショップ報告書を提出する。
- 11 . 総漁獲可能量 (TAC) 及びその配分
条約上、委員会は TAC 及び割当量を設定することを規定している。これは重要管理事項である。
- 12 . クォータトレーディング
加盟国間で行われるクォータトレーディングは漁業管理の問題としてとりあげられた。この議題は、この問題について、各国が協議する機会を提供する。
- 13 . IUU 漁業
決議案は、IUU 漁業による脅威に対応し、IUU 漁業を管理するシステムを確立するため各国に配布された。協議により、決議は採択され、委員会の今後の管理活動に影響を及ぼすであろう。また、本件は、CCSBT 遵守委員会を活性化するであろう。
- 14 . 貿易情報スキームの問題
この項目は、このスキームの運営上の問題について、協議する機会を提供する。
- 15 . 生態学的関連種作業部会 (ERSWG)
この項目は、委員会が、2004年2月開催予定のERSWGにおける作業案について、ガイダンスを与える機会を提供する。
- 16 . 調査死亡量枠 (RMA)
この項目は、加盟国に、2004年の各加盟国の研究活動に対するRMAの承認を要求する機会を提供する。
- 17 . 2004年の作業計画
事務局は、種々の諮問機関の提案を踏まえた作業計画、及び2004年の韓国での会議開催における予定表並びに会場予定を提案する。
- 18 . その他の組織との活動
事務局長は、他機関との前年の交流活動状況、並びに2004年の活動案の報告書を提出する。WCPFCなどの他の地域漁業管理機関とのさらなる協力について検討されるであろう。
- 19 . 委員会文書の機密性
委員会は、第10回年次会合に関する文書の公表について、正式に合意しなければならない。

20 . その他の事項

21 . 閉会

- a. 第3回拡大委員会の議長及び副議長の選定
- b. 会合報告書の採択
- c. 閉会